

【このページは参考資料として掲載しています】

旧サイト（2014年12月まで公開）のページのため、現在販売していない商品や価格の異なるものも載っていますのでご注意ください。

（この注記は2017/1/23現在）

デアゴスティーニ社から発売されている「和風ドールズハウス(以下『和風DH』と呼びます)」に安全に配線・照明する方法をご紹介します。

なお、この解説は当方が勝手に行っているもので、デアゴスティーニ社とは関係ありません（2005/4/13現在）。和風DHに関するお問い合わせはデアゴスティーニ社にお送り下さい。

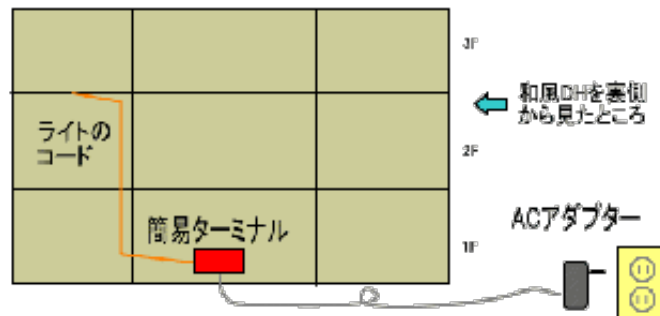
当サイトのオープンギャラリーで和風DHの作品（照明を付けたもの）を紹介しています。ぜひご覧になって参考にして下さい。

このページの主な内容

（まだ準備中のものもありますが、順次UPします）

- (1) 和風DHの照明に必要なもの
- (2) 基本的な配線方法
- (3) アダプター・配線器具について
- (4) ライトの作例紹介
- (5) 照明にかかる費用
- (6) 分割しやすい配線（応用）
- (7) よくある質問

和風DHの配線方法(詳しくは「基本的な配線」をご覧ください)



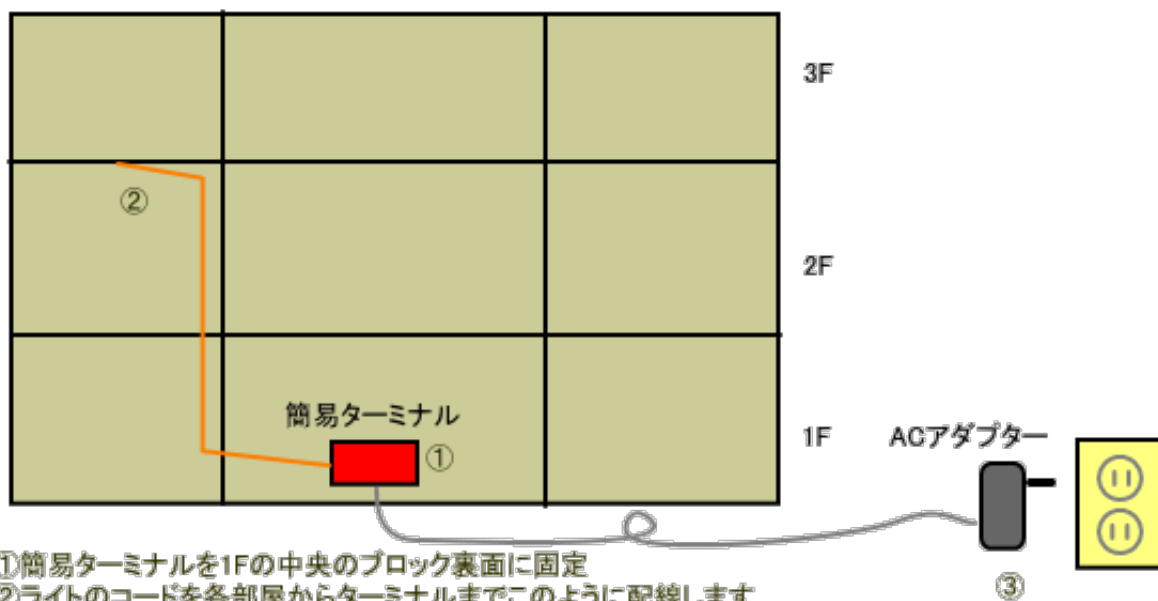
(1) 和風DHの照明に必要なもの

必要なのは、ACアダプター・配線器具・ライトの3つです

ACアダプター	家庭の電圧（コンセントの電圧）を100Vから12Vに下げる器具です。容量2Aのものをおすすめします。	 <p>QT-5151 ACアダプター・簡易ターミナルセット (12V・2A用、中間スイッチ・ヒューズ付)</p> <p>ACアダプターとターミナルを別々に購入することもできます。簡易ターミナル方式以外の配線方法にすることも可能です。</p>
配線器具 (ターミナル)	<p>ライトのコードを接続するための器具です。2A用の簡易ターミナルをおすすめします。</p> <p>他に、延長コードや収縮チューブなどの消耗品もあった方が便利です。</p>	
ライト	<p>ドールハウスの中につける照明器具です。すべて12V用です。</p> <p>和風の完成品はあまり販売されていないので、キットやパーツを使って自作することになります。</p>	 <p>和風天井灯の完成見本</p>





(2) 基本的な配線方法

和風DHの配線方法(裏面から見たところ)



- ①簡易ターミナルを1Fの中央のブロック裏面に固定
- ②ライトのコードを各部屋からターミナルまでこのように配線します
(この例は2F右側の客室の天井灯のコードの場合)
- ③ACアダプターをコンセントにつないで点灯

簡易ターミナルを1F中央のブロック裏側

簡易ターミナルを固定	<p>に付属のネジで固定します（写真のボックスは本物の和風DHではありません）。</p> <p>簡易ターミナルをネジ止めするには取付け場所の板厚が6ミリ必要です。和風DHの板厚が十分でないときは、厚みを補うためのベニヤ板を貼って、その上にネジ止めします。</p>	
ライトのコード出しとターミナルへの接続	<p>部屋の天井板に穴を開け、ライト（天井灯）のコードを出します。壁灯や行灯のコードは壁に穴を開けて裏面に出します。</p>	
ライトのコード出しとターミナルへの接続	<p>ライトのコードを振り分け、ターミナルの赤と黒の穴に1本ずつ差し込みます。2A用の簡易ターミナルには赤と黒の差込穴が2組ついており、それぞれの穴にはライト10個分ぐらいのコードを差し込むことができます。つまりこのターミナル1個にライト20個ぐらいは接続できるわけです。</p>	
コードの始末	<p>配線が終わったらマスキングテープやコード押さえ金具などを使ってコードを押さえておきましょう。見た目もきれいですし、コードを引っ掛けたりする事故が予防できます。</p> <p>和風DHの部屋を積み重ねるときは、天井裏に出したコードが押しつぶされないよう、当て木などをしてすき間を確保してください。</p>	

(3) ACアダプター・配線器具について

12V用を使う理由	<p>ドールハウス用照明器具（ミニチュアライト）の電圧は12Vが標準です。3V（電池式）に比べて電球・ライト・配線器具などの種類も多く、長時間の点灯が可能です。</p>	
	<p>和風DHの場合、部屋数からみて全部で20～25個の麦球をつける必要があると思われます（1部屋に2、3個は必要です。高級感を出すためには1部屋に5、6個つけ、そのうちいくつかを間接照明</p>	

容量2Aが必要な理由

にすると理想的です)。

容量1Aのアダプターでは標準的な麦球 (QT-5511・使用電流60mA) が最大16個しかつけられません。容量2Aのものでは麦球33個までつけられます。ただし、長時間連続点灯させたい場合は、80%程度 (2Aの場合26個) に減らしておく方が安全です。それ以上つけたい場合は、アダプターとターミナルのセットを2組ご使用ください。

(4) 和風DHに使えるライト・キット・パーツと作例紹介

作例	解説	当サイトで購入できるもの
かまどの火(キット)  完成例	和風DH第2号で配布されたかまどに火を入れました。1F右手の台所で使われています。	QT-4621 「かまどの火キット (2個分)」 かまどの焚き口が3つありますので、3つとも火を入れるためにはキットが2個必要です。
客室の天井灯 (キット)  完成例	客室の天井灯です。縁側の天井灯も作れます。少しアレンジすれば玄関ホール用に大きめの豪華な天井灯を作ることも出来ます。	QT-4921 和風天井灯キット (2個分)
小行灯(キット)  完成例	帳場の辺りに行灯を置くのもよし、少しアレンジしてお風呂の明かりにするのもよし、です。	QT-4931 小行灯キット (2個分)
炭火キット		品番 QT-4601 品名 炭火キット



完成例

囲炉裏の炭火を作るためのキットです。



(5) 照明にかかる費用

和風DHにライトを20～25個程度つけるとして、照明全体にどれぐらい費用がかかるか試算してみました。ライトを自作するかどうかで費用がかなり違ってきます。

ライトを自作するか購入するか	ライトにかかる費用と具体的な商品例	照明全体にかかる費用
<p>ライトを全て自作するとしたら (中級者～上級者向き)</p>	<p>3,000円～6,000円程度 (ライトのみ)</p> <p>麦球・電球だけは購入するが、あとはヒノキ棒や和紙など自前の材料を使ってライトを自作するやり方です。費用は一番安くて済みますが、その分手間と技術が必要です。</p> <p>当サイトで購入できる商品の例 QT-5511 12V用麦球</p>	<p>アダプター・配線器具に約8,000円かかります。</p> <p>合計で11,000円～14,000円程度あればできます。</p>
<p>主にキットを使って作るとしたら (初心者～中級者向き)</p>	<p>10,000円～20,000円程度 (ライトのみ)</p> <p>何個かキットを使って作り、要領がわかたらなるべく自前の材料で作る方法です。和風DHで配布されるパーツを改造するのもいい方法です。キットを使って作れるかどうか不安だという方は、一度講習をお受けになるといいでしょう。</p> <p>完全自作するだけの技術はなくても、根気と熱意でカバーするという方向きです。したがってオススメです。</p> <p>当サイトで購入できる商品の例 QT-4621 かまどの火キット QT-4921 和風天井灯キット QT-4931 小行灯キット QT-5511 12V用麦球</p>	<p>アダプター・配線器具(約8,000円)と合わせて18,000円～28,000円程度あればできます。</p>

	QT-5592 ミニチュアライトパーツキット	
<p>全て完成品を購入するとしたら (お金持ち向き)</p>	<p>40,000円～75,000円程度 (ライトのみ)</p> <p>全て完成品のライトを購入するやり方です。費用はかかりますが、手間はかかりません。ただし、今のところ和風のドールハウスに合うようなライト (完成品) はあまり販売されていません。</p> <p>上記の金額は当方で完成品を作り、平均単価が2,000円～3,000円になると「仮定」して試算したものです。他のやり方と金額を比較するための数字とお考え下さい。</p> <p>時間と技術のどちらかが (あるいは両方とも) ないけれど、お金ならあるという方向きです。もっともそんな方が和風DHをおやりになっているとは考えられませんけど。</p> <p>当サイトで購入できるもの 今のところありません</p>	<p>アダプター・配線器具 (約8,000円) と合わせて48,000円～83,000円程度です (試算のみ)。</p>

(6) 分割しやすい配線方法・ ターミナルを隠す方法 (応用)

分割しやすい配線方法

(2) で紹介した基本的な配線方法では、各ブロックのライトのコードをすべて1Fにある簡易ターミナルまで引っ張ることにしています。そのため、和風DHを移動したり修理したりするためにブロックを分離しようとする時、そのたびにすべてのコードを外して、後でまた付け直さなければなりません。ブロックの分離・結合の頻度が多いと、この作業はかなり面倒だと感じられるかもしれません。

ブロックの分離・再結合のためのコードのつけ外しをもっと簡単にしたいのであれば、各ブロックごとにサブターミナル (中継用のターミナル) をつけるとよいでしょう。その方法は後日ご紹介します。和風DHの2F3Fが出来上がるのはかなり先のことだと思われるので、とりあえず基本的な方法 (メインの簡易ターミナルのみ) で配線しておき、どうしても不便だと感じるようだったら後日サブターミナルを追加すればいいと思います。

(注: サブターミナルを使う方法については、現在のサイト中「照明教室>詳細ノート・配線の技術」の中にある「子ターミナルを利用した分割しやすい配線方法」をご参照ください) (2017/1/23 注記)

ターミナルを隠す方法

また、展示する場所の都合で和風DHの裏面が見える場合などは、ターミナルなどの配線器具を裏面に露出させたくないということもあるでしょう。そのようなときは、ターミナルを木製の小箱に入

れておくようにすると目立たなくなります。和風DHの旅館の雰囲気にあった小屋か東屋を作りその中に収納するといった、マニア的テクニックも考えられます。

(7) よくある質問

和風DHに関するご質問は直接デアゴスティーニ社にお送り下さい。
照明に関することであれば当方でもわかる範囲でお答えします。
ただし、メール・ファックスではご説明しにくいことが多いので、
なるべくお電話（9時-15時の間03-3449-8879）でお願いします。

Q 和風DHに照明をつけたいのですが、全部でどれぐらい費用がかかりますか

A (5) 照明にかかる費用（2005/4/8新設）を参照してください。

Q 1階の天井灯のコードを配線した上に2階の床を接着してもかまわないでしょうか？

A 2階の床を接着してしまうと、天井板と床板に挟まれたコードが動かせなくなってしまうので、2階の床は1階の天井に接着しない方がよいでしょう。ただし、和風DHのキットがどのように2階を積み重ねるようにデザインされているか、今のところ明確ではありません。様子がわかりましたら、もう少し詳しく方法を説明することにします。

以上